

喀痰検査の取り方

受診 3 日前から毎朝 3 回採取します。(冷蔵庫保管してください。)

喀痰細胞診の流れ

1. 口をゆすぐなどして、口のなかをきれいにする
2. 咳払いや強い咳をして、痰を吐き出す
3. 採取容器に痰を入れる



どうしても痰が出ない

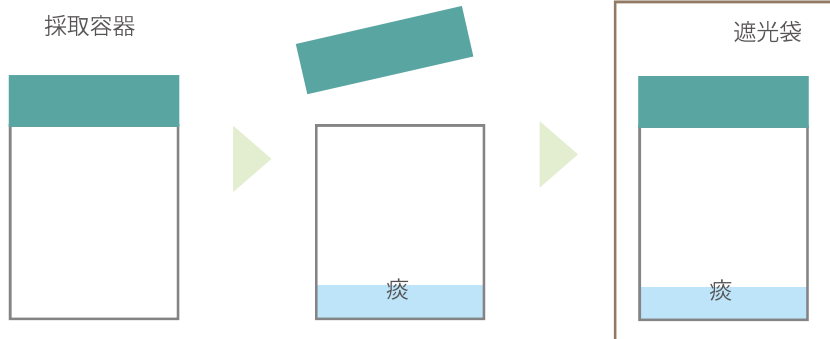
痰が出にくい時は「熱湯」を器にくみ、口を開けて湯気を繰り返して吸い込むと、出やすくなります。

全く出なかった場合は、下記 Q&A の 4 を参照して唾液提出してください。

容器の写真
(色は関係ありません。)



採取容器



Q1. 喀痰検査とは何の検査ですか？何の病気がわかりますか？

A1. のどから出る痰を顕微鏡で観察する検査です。結核や肺がんなど診断することができます。

Q2. 冷蔵庫保管しないとどうなりますか？

A2. 雑菌が大繁殖することで、病的な成分を顕微鏡で確認することが困難になります。

Q3. 痰はどのくらいの量をとればよいですか？

A3. 総量ができるだけ 1ml (底面が埋まる程度) 以上を目安にとりましょう。

Q4. 痰をとれなかった場合はどうしますか？

A4. 1 回分や 2 回分でも検査精度が下がりますが検査可能です。また、どうしても痰が出ない場合は唾液からでも結核菌が培養されることがあるので、とりあえず検査に出してください。